

市長定例記者会見資料

平成29年5月1日

部 課 名	こども健康部次世代支援課	電 話	22-8457
課 長	仲西 徹	担 当 者	次世代支援担当 金近
1. 件 名	『子どもの問題』啓発セミナー ～子どもたちが未来に夢を持ち続けるために私たちがやること～		
2. 目 的	「子どもの貧困問題」を正しく理解し、真に支援を必要とする人に支援の手が差し伸べられる、社会や地域をつくるために、現状の理解と、既に県内で行われている取組とその必要性などについて紹介し、より多くの人々が理解を深めて、支援や活動への参加を促すとともに、関係者相互の連携を図り、事業展開の促進を図る。		
3. 日 時	平成29年5月28日（日）午後1時から午後4時まで		
4. 場 所	周南市児玉町 徳山保健センター 1階健診ホール		
5. 主 催 者	NPO法人山口せわやきネットワーク （共催：周南市）		
6. 内 容	(1) 基調講演「問題とされる子どもたちとの出会いから」（60分） (2) 周南市内などの取組事例紹介 （60分） (3) 意見交換「子どもの貧困問題の解決に向けた、今後の取組について」（60分）		
7. 参 加 者	堀江秀紀（基調講演の講師）、藤田希臣（取組事例紹介）、 小林武生（徳山大学福祉情報学部 学部長）、中村広忠（周南市こども健康部 部長）、 子ども・子育て支援事業に関心のある団体、企業、市民など		
8. そ の 他	別添資料のとおり		

『子どもの問題』 啓発セミナーin周南市 開催要領
こどもたちが未来に夢を持ち続けるために、私たちがやること

1 目的

「子どもの貧困問題」に対する関心の高まりとともに、各地で活動が広がりつつはあるものの、まだまだ問題の周知は進んでおらず、問題の存在を知らない、あるいは問題の本質が正しく理解されていない場合が多い。また、事業開始のためのノウハウやネットワークがないため、問題意識はあっても、事業開始には至らないケースが多いと考えられるため、問題の啓発とともに関係者によるノウハウの共有等が必要となっている。

この問題を正しく理解し、真に支援を必要とする人に支援の手が差し伸べられる、社会や地域をつくるために、現状の理解と、既に県内で行われている取組とその必要性などについて紹介し、より多くの人々が理解を深めて、支援や活動への参加することを促すとともに、関係者相互の連携を図り、事業展開の促進を図る。

- 2 日時・場所** 平成29年5月28日（日）午後1時～午後4時
周南市徳山保健センター 1階健診ホール
(周南市児玉町1丁目1番地)

3 内容 ※敬称略

- (1) 基調講演「問題とされる子どもたちとの出会いから」(60分)
講師：堀江秀紀(臨床心理士、元岩国児童相談所長)
- (2) 周南市内などの取組事例紹介 (各30分)
 - ① NPO法人Love Eco周南(周南市) 副理事長 藤田希臣
子ども食堂の運営(周南市内2ヶ所)
 - ② こども明日花プロジェクト(山口市) 代表 児玉頼幸
学習支援、居場所づくり事業
- (3) 意見交換「子どもの貧困問題の解決に向けた、今後の取組について」(60分)
参加者： 堀江秀紀(基調講演の講師)
藤田希臣(取組事例紹介)
小林武生(徳山大学福祉情報学部 学部長)
中村広忠(周南市こども健康部 部長)
進行： 児玉頼幸(こども明日花プロジェクト 代表)

4 参加者(60名程度)

関係団体・NPO法人、行政機関、大学、一般、ボランティアなど

5 主催・事務局 NPO法人山口せわやきネットワーク(担当：児玉)

6 共催 周南市